

令和5年度地方創生関係交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画	地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標（KPI）					達成状況・評価
	計画名 （計画期間）	事業名	事業概要	指標名		指標値 （上段：前年度比） （下段：期間累計）	目標 期間	実績値 （上段：前年度比） （下段：期間累計）	
1	栃木市渡良瀬サイクルパーク（仮）整備計画 （R3～R7年度）	栃木市渡良瀬サイクルパーク（仮）整備事業	・サイクルスポーツの拠点となる施設を整備することにより、サイクリストの誘客増加を図る。 ・常設の自転車専用コース、パンプトラック等を整備し、複数種のサイクルスポーツを楽しめる環境を整備する。 ・併せて、市内既存飲食店や観光施設への案内を行うことで、単に自転車のみを楽しむだけでなく、自転車を核とした地域振興策として展開していくことで、施設周辺地域の経済活性化を図る。	①	サイクルパーク（仮）利用者数	2,000 人増	R5年度	15,368 人増	達成状況及び今後の取組方針
						3,000 人増	R3～R7	24,214 人増	
				②	渡良瀬遊水地の観光客入込数	10,000 人増	R5年度	▲ 1,436 人増	施設のオープン以後、イベント開催やSNS等を通じた周知活動により、サイクルパークの利用者は順調に推移している。（KPI①） 一方で、施設オープン前の令和2年度、3年度におきましては新型コロナウイルス感染症の影響により、渡良瀬遊水地への観光客入込数、観光消費額はともに大幅に落ち込みましたが、その後、徐々に回復傾向ではあるものの、依然目標値の達成には至っていない。（KPI②③） 今後、継続的にイベントやセミナー・教室を開催する。また、宇都宮ブリッツェンの知名度を活かした施設利用PR活動やわたらせクリテリウム以外の大規模イベント開催を誘致するとともに、渡良瀬遊水地内で開催される他イベントとの連携を強化することで、サイクルパーク利用者数及び渡良瀬遊水地の観光入込客数の増加を図り、渡良瀬遊水地における観光消費額の目標額の達成を目指す。
						16,000 人増	R3～R7	▲ 102,547 人増	
				③	渡良瀬遊水地における観光消費額	30,000 千円増	R5年度	▲ 2,271 千円増	
			51,500 千円増			R3～R7	▲ 161,926 千円増		
			④						
			⑤						
			令和5年度取組						
			令和3年度末に整備が完了した渡良瀬サイクルパークを令和4年（2022年）4月に本格稼働し、令和5年度中の施設管理運営を受託しているプロサイクルロードレースチーム『宇都宮ブリッツェン』の運営会社と連携しながら、下記の取組みを実施した。 ・サイクルイベントの実施（わたらせクリテリウム※）4回 ※自転車周回レース。 ・自転車セミナー・教室の開催 20回（ロードバイク初心者講習会・補助輪卒業教室等） ・視察受入 1件（長野県安曇野市）						